出張する「文化財」

―ほかの地域で展示される市内の出土品―

石狩市内の遺跡で見つかった出土品が、市外の博物館や展示施設の企画展に展示されることがあります。普段は近くに並べて見ることがない市外の出土品と一堂に展示されることで、数千年前の石狩と近隣地域との関わり、周辺地域からの文化的な影響、遠方からのモノの動きなど、新たな発見や解明の手がかりになることがあるのです。

2023年に開催された国立アイヌ民族博物館の特別展「考古学と歴史学からみるアイヌ史展」では、紅葉山33号遺跡から出土した続縄文文化前半期の「漆塗り弓」(約2千年前)が展示されました。この弓には、朱色に塗られた表面に2対1組を基本にした渦巻文様が描かれているのが特徴です(写真1)。しかし、市内の遺跡で見つかった出土品の中に同様の文様を入れたものが確認されず、ほかの地域の出土品に類例がないか探していました。そのような折、特別展の同じフロアに展示されていた伊達市有珠モシリ遺跡の骨角製銛頭(もりがしら)(続縄文文化前半期)に渦巻文を左右に並べてV状の文様を組み合わせた線刻があり(写真2・左)、紅葉山33号遺跡の漆塗り弓の文様に類似した構図であることが分かりました。双方の出土品と文様に関係があるかはまだ分かっていませんが、銛と弓は、本来、獲物を捕らえる道具として共通性があることから、関連する意味合いを持つ装飾を入れた可能性があるのかもしれません。

今年も、これまでに市内の遺跡から見つかった出土品が、市外で展示されるため出張中です。一つは、北海道立埋蔵文化財センター企画展に、志美4遺跡から出土した縄文文化晩期のネックレス(写真3)などが展示されます。もう一つは、苫小牧市美術博物館企画展に、紅葉山49号遺跡から出土した縄文文化中期の木製品(写真4)が展示されます。ほかの地域の出土品とともに、いつもと違った視点から地域の歴史・文化を楽しんでみませんか。

(荒山千恵)

写真1 紅葉山33号遺跡　渦巻文を描いた漆塗り弓(部分撮影)
続縄文文化(撮影:国立アイヌ民族博物館)

写真2 有珠モシリ遺跡
渦巻文を入れた銛頭
続縄文文化
(画像提供:伊達市教育委員会)

写真4 紅葉山49号遺跡　木製容器　縄文文化中期
※写真4は実物撮影、同資料の複製品などが展示される予定

写真3 志美4遺跡
石製の小玉(ネックレス)
縄文文化晩期

学芸員
荒山千恵
Chie Arayama

専門分野は考古学。遺跡の調査をはじめ、出土した木の道具、音の考古学などの研究を行う。

展示情報 ※詳細は開催施設HP参照

◆企画展「北海道・北東北の縄文遺跡群展5　縄文遺跡群とみんなのお墓」
期間　11(土)～9/27(日)　※月曜休館、臨時休館はHP参照
場所　北海道立埋蔵文化財センター(江別市西野幌685・1)

◆企画展「縄文S・F(すこし・ふしぎ)」
期間　11(土)～8/30(日)
※月曜休館、ただし20(月・祝)は開館、翌日休館
場所　苫小牧市美術博物館(苫小牧市末広町3・9・7)

問文化財課 いしかり砂丘の風資料館☎62・3711 ※火曜休館

中学生が学んだ
不正薬物ゼロへの取り組み

6/5、花川南中学校は函館税関の職員を講師に招き、「薬物乱用防止教室」を開催。不正薬物の恐ろしさを学び、麻薬探知犬のデモンストレーションには生徒も参加。不正薬物ゼロを目指し、水際で食い止めようとする税関職員たちの強い思いを共有しました。

問 函館税関小樽税関支署石狩出張所☎64・6797

▲花川南中学校で全校生徒を対象に行われた「薬物乱用防止教室」。

不正薬物——それは強い中毒性で心身の健康を破壊し、人生を破滅に追いやる恐ろしい存在です。不正薬物密輸事件の令和6年における摘発件数は全国で1020件に上り、近年はSNSの普及を背景に10代の検挙者数も増加傾向にあります。この脅威への関心を高めようと、花川南中学校で全校生徒を対象とした「薬物乱用防止教室」が開催されました。

講師を務めたのは函館税関の職員です。グローバルにモノが行き交う港や空港で、不正薬物の侵入を防ぐ最前線に立ち、安全・安心な社会の実現に向けて日々奮闘しています。

教室では、石狩湾新港地域にある石狩出張所の佐藤信治統括審査官が税関の役割を分かりやすく解説。続いて新千歳空港に拠点をおく密輸対策企画室の佐々木健介監視官と芳賀龍斗ハンドラーが、麻薬探知犬を交えた水際対策のデモンストレーションを披露しました。

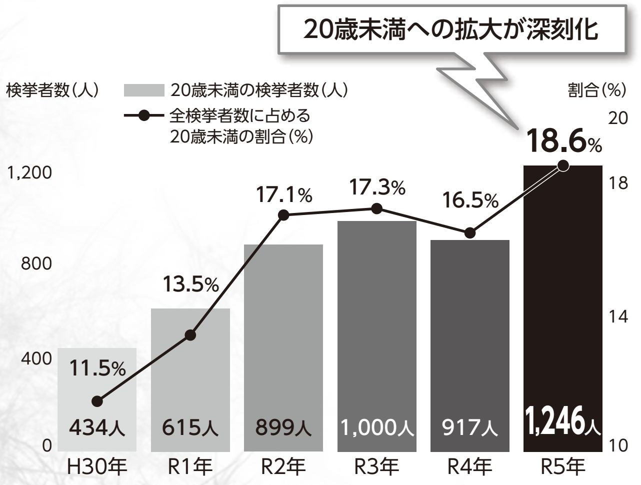
終了後、「大切なのは一人一人が薬物を求めないこと。本当は麻薬探知犬の活躍が減ることこそ望ましいのです」。そう語った佐々木監視官の言葉が、深く心に残りました。

◀麻薬探知犬について説明する佐々木健介監視官。

▼麻薬探知犬・ソーン号が、9人の生徒が持つバッグから不正薬物の臭いが染み込んだものを当てる試技を披露。キャリア6年のベテランらしくたちまち嗅ぎ分け、"おすわり"をして知らせると、生徒たちからは大きな拍手が湧き起こりました。

20歳未満の大麻事犯

検挙者数と全世代に占める割合がともに増加傾向に。



※「検挙者数」は出典では「検挙人員」
出典：警察庁、厚生労働省、海上保安庁（厚生労働省集計）調べをもとに編集部作成

ハンドラー
芳賀龍斗さん

遊び大好き♪
好奇心も旺盛な
オーストラリア生まれの
ラブラドールレトリバー

不正薬物とは大麻や覚醒剤、ヘロイン、コカインといった私たちの健康を損なう薬物のこと。その脅威から地域を守るため、私たちはチームとなって日々最前線で戦っています！

麻薬探知犬
ソーン号
（7歳）